

# 次世代のために 何を残すことができるのか！ 次の世代につけを残さない改革を！

岩 為俊 ※太田 貴子 木本 祐  
吉田 稔弘 米山 利治 ※は発言者

## 施設一体型小中一貫教育 今後の取り組みは

議員 小中一貫教育は研究・検討を重ね、連携型は全小、中学校で実施となりますが、施設一体型については検討委員会が立ち上がったところです。施設一体型の検討と同時に、地域

住民や保護者が学校づくりに参加するコミュニティ・スクールの検討も要望しますが、見解を伺います。

市長 小中一貫教育では、本市のこれまでの取り組みを更に高めるため、施設一体型を含めた在り方を検討します。コミュニティ・スクールは、現時点で導入していませんが、学校・家庭・地域の連携や協働により社会全体の教育力を高める仕組みづくりを進めます。

## 子育て支援 子ども家庭センターの設置を

議員 児童虐待の増加や、子どもの貧困が大きな問題となっています。対策として、児童虐待防止事業の拡



▲子育て総合支援センター「カンガルーの森」で遊ぶ親子

大を図り、カンガルーの森に子ども家庭センターを設置するほか、孤食等で苦しむ子どもを見守る「子ども食堂」での支援が考えられますが、見解を伺います。

市長 児童虐待では、吹田子ども家庭センターとの連携や新たに実施する子育て世代包括支援センター事業などにより支援の充実を図ります。また、子どもの貧困では、NPO等と意見交換を行い協働の取り組みを進めています。今後も、

関係機関との連携を更に強化し、子どもの視点に立った支援の充実に努めます。

## 医療観光の実現に向けた 高槻市の観光戦略は

議員 日本でしかできない体験を求めて観光に訪れる外国人旅行者も多いため、本市の強みである充実した医療機関を生かすなどの観光戦略が必要と考えますが、見解を伺います。

市長 昨今、そのまちならではの体験型観光が目立っているため、本市でも様々な分野の関係団体と連携し、特色ある観光資源を生かし、観光振興に取り組んでいきます。

## JRと阪急の 踏切での課題 高架化に向けた 取り組みは

議員 JR摂津富田駅の踏切事故防止や阪急富田駅の踏切渋滞解

消などによる市民の安全を守る取り組みとして、JRと阪急の高架化に対する見解を伺います。

市長 JRの高架化は大阪府に要望しながら、積極的に取り組みを進めていますが、様々な検討・検証が必要のため、鉄道高架化勉強会による情報共有を図りながら、方向性を整理します。また、阪急の高架化についても大阪府に対して要望していきます。



▲高架化が望まれる阪急京都線